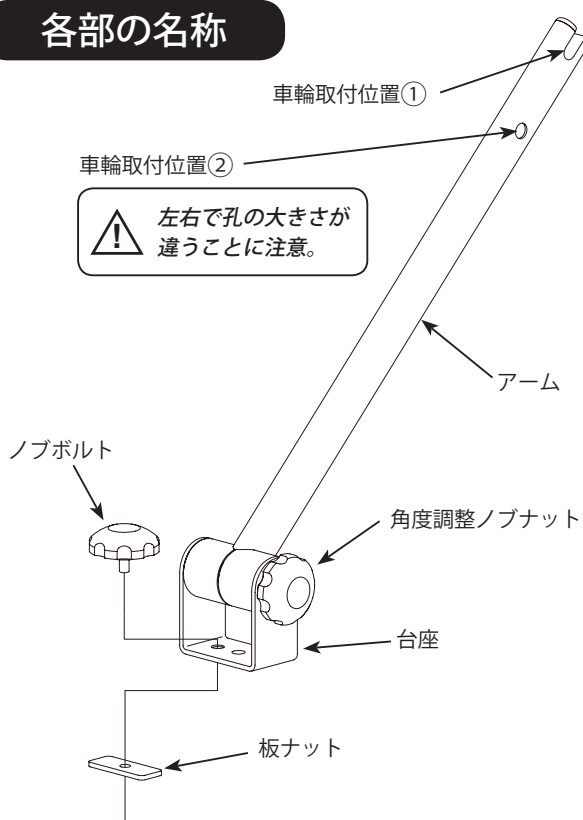


自転車を2台搭載した
VERGO-TF2の
レールの端に装着した例

車輪ホルダについて

- VERGO-TF に自転車を搭載するには少なくとも前輪を取り外さなければなりません、その取り外した車輪を専用のアームに取り付けて保持することで、車内で転がりまわって傷付いたり破損するのを防ぎます。
- 1本のアームで最大2本の車輪を保持することができます。保持できるホイールは一般的な9mmクイック仕様のもののみです。スルーアクスル式など、それ以外のサイズのクイックでは使用できません。

各部の名称



お問い合わせ先

<製造元> 株式会社 箕浦
〒503-2312
岐阜県安八郡神戸町下宮 134-1
Tel: (0584) 27-3131 / Fax: (0584) 27-7505
Email: minoura@minoura.jp
Web: www.minoura.jp 日本製

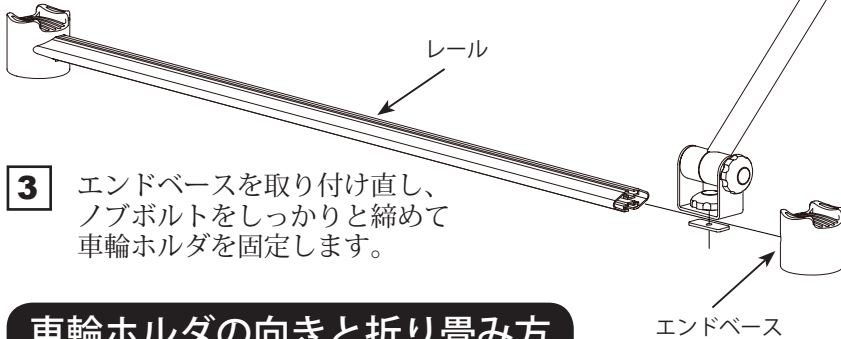
<販売元> 株式会社 フカヤ
〒460-0015
愛知県名古屋市中区大井町 1-37 フカヤビル 3F
Tel: (052) 228-8910 / Fax: (052) 228-8917
Web: www.fukaya-nagoya.co.jp

製品保証期間

本商品の保証期間は、お買い上げ日より起算して**1年間**です。製造者側に瑕疵のある不具合に対して無償修理や部品交換を行いません。ユーザーによる勝手な改造や誤った使い方、自然摩耗等に関しては保証されません。

車輪ホルダの取り付け方

- 1 車輪ホルダの台座にノブボルトを通し、板ナットからボルトの先端が出ない程度に軽くねじ込んでおきます。
- 2 エンドベース下面のつまみネジを緩めてレールから抜き取り、レールの上側の逆T字型溝の中に、車輪ホルダの板ナットを通します。

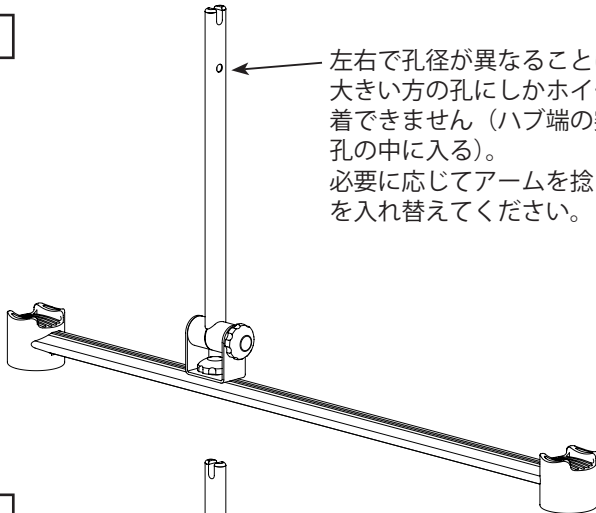


- 3 エンドベースを取り付け直し、ノブボルトをしっかりと締めて車輪ホルダを固定します。

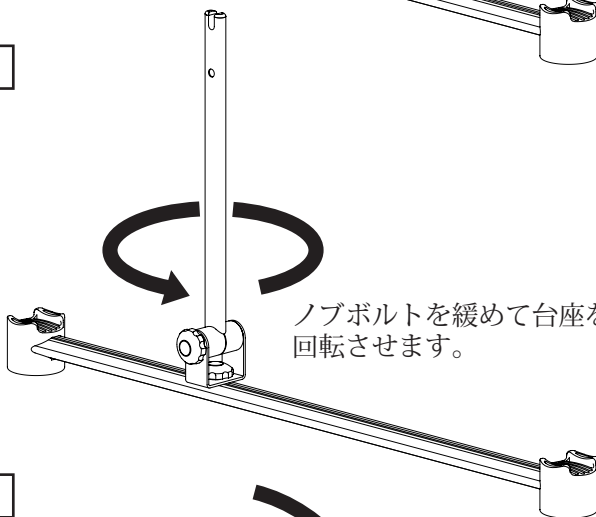
車輪ホルダの向きと折り畳み方

アームは左右どちらにも向けることができます。
また使用しない時にはレールに沿って折り畳めます。

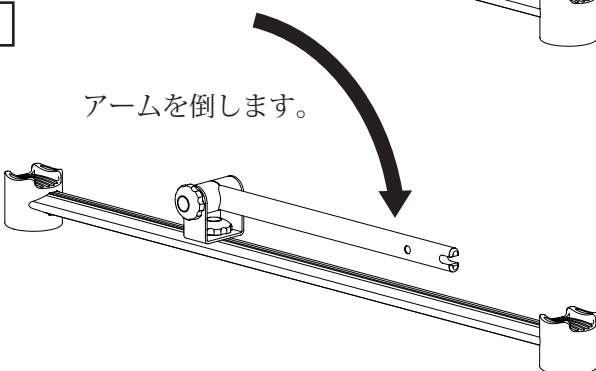
- 1 左右で孔径が異なることに注意。大きい方の孔にしかホイールは装着できません（ハブ端の突起部が孔の中に入る）。必要に応じてアームを捻って左右を入れ替えてください。



- 2 ノブボルトを緩めて台座を回転させます。

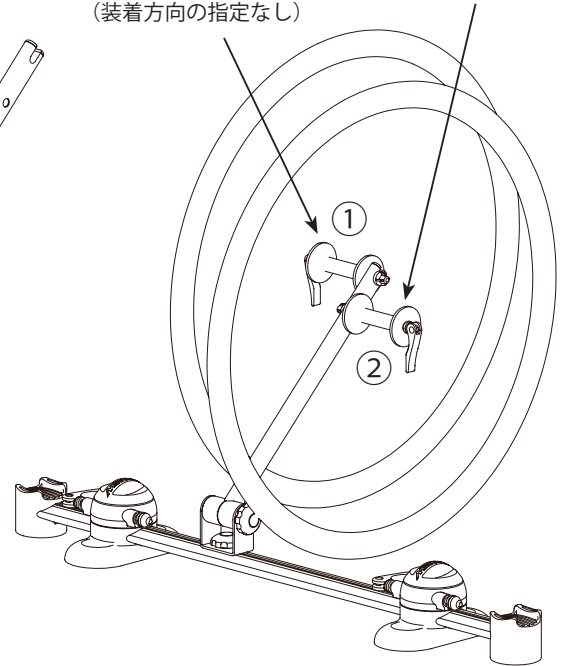


- 3 アームを倒します。



車輪の取り付け方

取付位置①の車輪
(装着方向の指定なし)
取付位置②の車輪
(装着方向に指定あり)



車輪取付位置①・②とも、車輪からクイックを抜き取る必要はないままで装着できます。いずれもクイックレバーは外側を向きます。

車輪取付位置①

クイックのナットを緩め、レバー側からシャフトを押し込んでナット側に大きな間隔を作り、それをアーム先端の切り欠き部分に差し込みます。クイックレバーを倒して挟み込んで保持します。

車輪取付位置② (挿入方向指定あり)

クイックのナットを傘バネと一緒に抜き取り、シャフトごと直径9mmのハブ端を大きい方の孔にすっぽりと挿入します。これで保持面積が広がります。傘バネとナットを取り付け直し、クイックレバーを倒して挟み込んで保持します。

⚠ ②の場合に傘バネがねじられて変形してしまう場合は、アームに装着するときのみ、バネの方向を逆にしてみてください。

⚠ アームはパイプ製です。クイックを強く締め付け過ぎるとアームを潰して破損させてしまう恐れがあります。車輪が外れない程度の締め込み具合に加減してお使いください。

⚠ 車輪は、宙に浮かすよりはタイヤを床面に付けて荷重を車輪自体で支えるようにして使います。ノブボルトをいくら強く締めても、ホイールを宙に浮かすことはできません。ノブナットを緩め、アームを倒し、車輪が床についた位置でノブナットを締め付けて保持します。